



株式会社島津興業 観光事業本部 薩摩ガラス工芸

事業概要：各種ガラス製品の製造・販売

主要製品：薩摩切子、他ガラス製品

07

会社概要 2010年9月現在

設立 1985年（昭和60年）4月

従業員数 36人

代表者 代表取締役社長 葉山 薫

所在地 〒892-0871

鹿児島県鹿児島市

吉野町9688-24

連絡先 TEL.099-247-2111

FAX.099-247-8441

info@satsumakiriko.co.jp

http://www.satsumakiriko.co.jp

我が社の
PR!

シラスクリスタル ～つややかに交錯する繊細な光～



ヴォルカングラス（セピア、グリーン）

製品紹介 桜島をイメージしたデザイン

ヴォルカングラス

ヴォルカングラスは加久藤シラスを主原材料としています。

デザインの特徴は、ガラスの台座部分に用いた形は桜島をイメージしており、ガラス部分に描かれたモールドはその桜島から出る噴煙をイメージしております。

セールスポイント お手頃価格のガラス製品を開発

弊社は薩摩切子を復元する会社として事業を開始しましたが、鹿児島でとれる安価なシラスに着目し主原材料とすることで、薩摩切子とは違いお手頃な価格帯のガラス製品を開発しました。

シラスに含まれる鉄を、着色剤としてそのまま利用し、薄緑色の柔らかい色合いのガラス（シラスグリーン）を作成しました。

カラーバリエーションとして、シラスベースのガラスにセレンを加えたシラスセピアと、銅やコバルトを加えたシラスブルーの3色を開発し、商品展開しています。



各種シラス製品

社長からのメッセージ

鹿児島特有のシラスを生かした製品づくり

弊社の基盤となるガラス製造の技術を基に、鹿児島特有の原料であるシラスを十分に活かした製品であると思います。シラスは土壌としては厄介な性質ですが、違う角度からその性質を引き出し、器として再生することで繊細な光を放っております。

県外の方に向けて使用していただくことが多いため、製品と共にシラスの特徴を盛り込んだ“しおり”を添えて販売しております。



代表取締役社長
葉山 薫さん

ここが
自慢!

薩摩切子とはまた違うジャンルのガラスとして、且つ鹿児島の原料を使用していることに大変興味を持っていただいております。高額な薩摩切子とは違い、土産や贈答アイテムに販売しやすい商品として好評を得ております。

製品開発から約20年が経過しておりますが、今も尚年間2,000個程の売上があります。実用性を重視しており、軽くて使いやすいグラスとして好評を得ております。特に県外の方向けの贈答品や記念品としてご購入いただくことが多く、根強い人気があります。

セットで贈答品としても
利用されています。



今後の
目標

使いやすく、
御求め易い商品を！

弊社の主製造製品は薩摩切子であり、今後の事業展開も薩摩切子がメインであることは変わりませんが、ガラス製造の技術とこのシラスを十分に生かした製品づくりは今後も続けていきたいと思っております。

使いやすく、御求め易い商品を重視し、なるべく価格帯も上がらないようにシンプルなデザインを保ちたいです。

弊社商品のPRだけでなく、鹿児島のシラスには多くの特質、可能性があることを伝えていけたらと考えます。

会社案内図

